



♪GSEだより♪

第21号

発行：2017年5月21日

もう、遠い昔のことも感じられますが、定期演奏会は本当にお疲れ様でした。チケット販売、観客動員、演奏内容、全て大成功！田部先生の指も攣らなくて、本当に良かった！（笑）
林さんが送られた礼状に対して、高野先生から以下のメッセージが届いていますので、遅まきながら紹介させていただきます。



グラントワ合奏団の皆様へ

すてきなお葉書をいただきありがとうございました。
東京は今桜が満開で、花びらが風に吹かれて舞っています。先日の演奏会では合奏団の皆さんと一体となった生き生きとした演奏ができ、本当に嬉しいです。
「春」では光あふれる春の喜びを感じることができました。「夏」では皆さんの合奏からの強い風を感じて、嵐の中のような気分になりました。
来期もまたお会いできるのを楽しみにしています。
高野 睦

Breaking News! Breaking News! Breaking News! Breaking News! Breaking News! Breaking Nes!

- ★久々の入団者！ ビオラに原真凜さん、名門安来高校弦楽部出身で現在県大2回生、詳細は次号で！
- ☆中山ゆき子さんと小林紘子さんのロビーコンサートが開催されます。6月10日 14時～
- ★10月28日にはグラントワで「初リサイタル」を決行します！ 忘れないようメモしておいて！【中山】

田部顧問が語る！ 新年度難曲の数々 op.1

今年の演奏曲の一つにJ・シュトラウス二世の「蝙蝠（こうもり）」序曲が選ばれた。思い返してみると私がこのオペレッタを生で聴いたのはたしか一回だけで、今から30年ばかり前に初めてのツアーでウィーンに行き、憧れの国立歌劇場でのことであった。

その時は歌劇場のオーケストラはあいにくザルツブルグ音楽祭と海外公演にウィーンフィルとして出かけており、フォルクスオーパーのオケが留守番役を引き受けていたがウィーン情緒豊かで十分楽しめたことを覚えている。

序曲は、始まるとすぐウキウキした楽しい気分になる良いとこ取りのメドレー曲で、聴くのは楽しいが演奏するとなると次々と変わるテンポや曲想についてゆくのにこれから先一年間の苦勞が偲ばれる。皆さん頑張りましょう。

田部慈洋

思い出の「逸品」

レコードジャケットから出てきた70年リバイバル時のチラシ！ 家の隣の映画館に貼ってあったのを駄々こねてもらった



サウンド・オブ・ミュージック 事始め

…「リバイバル」

この映画は1965年に公開されました。その後、70年、75年、80年とリバイバル公開されたはず。「リバイバル上映」は今や死語だけど、当時はレンタルビデオ屋などなく、「風と共に去りぬ」や本作のような名画は、5年くらいの間隔でリバイバルされるのをひたすら待つしかなかった。

私が最初に観たのは70年、中学校の全校生徒での鑑賞会、2回目は寂しく一人で、3回目にしてやっとデートで！ 感動はだんだん薄れるけど3回目は幸せ一杯で。